

別府市中央公民館 (昭和三十八年芸術会館)

別府市中央公民館（市民会館）は昭和3年別府市公会堂として完成しました。建築様式は近代ドイツ復興式に和風を加味したもので、館内には温泉の設備もありました。昭和25年から公民館として使用され、昭和42年から館内外の改造に着手し、昭和44年から大ホールを含む2階部分を市民会館として使用しています。施設の概要は次のとおりです。



所在地

別府市上田の湯町6番37号
〒874 電話 22-4118

建物の構造

鉄筋コンクリート造り3階建

面積

敷地 3,583㎡ 建物 3,101㎡

<中央公民館>

・運営目的

市民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行ない、市民の教養の向上、情操の純化をはかる。

・事業

- ・集会、行事の場の提供
- ・調査、広報活動の実施
- ・学級、講座、教室の開設
- ・文化祭、展示会、発表会の開設
- ・公民館運営審議会、社会教育委員の会議等の開催
- ・社会教育関係団体等の連絡調整

・各室の状況

講座室 343㎡ 定員 120名
主に教室、講座の場として使用、貸館も可。

- ・研修室 第1、第3研修室 40㎡ 定員 20名
- 第2研修室 88㎡ 定員 60名
- 第4研修室 25㎡ 定員 12名
- 第5研修室 36㎡ 定員 15名

主に社会教育関係団体の会議、研修室として使用、貸館も可。

- ・その他 料理室 70㎡ 定員 36名
- 特別室 40㎡ 視聴覚ライブラリー 36㎡

<市民会館>

・運営目的

市民のために集会、会議の場を提供し、各団体の発展を助長する。

・各室の状況

- 大ホール 1,187㎡ 定員 760名
- 第1、第3会議室 40㎡ 定員 20名
- 第2会議室 88㎡ 定員 60名
- 第4会議室 50㎡ 定員 30名 (和室)

・利用時間

中央公民館、市民会館とも9時～22時

・申込方法

電話：窓口にて予約受付して、使用前3日までに使用申請書を提出。

- ・附属施設に結婚式場（文化会館）もあります。

(館長 木野村季雄)

別府市中央公民館

(敷地 三〇八三² 建設 二〇一〇² 建築 二〇一〇² M²)

田の湯町六一三七にある近代トイの復興式に和風を加味した鉄筋コンクリート三階建の公民館。池田鉄道の設計になる建物。

昭和二年(一九二七)一月建築に着手し、昭和三年(一九二八)三月完工、別府市公会堂として長く利用されてきたが、昭和四年五月別府市公民館創設により一部を公民館として利用した。同五年(一九三〇)四月別府市公民館に正式転用した。

その後、昭和四年(一九二九)三月第一次改造(地下)、同四年(一九三〇)三月第二次改造(玄關)、同四年(一九三〇)八月第三次改造(各

室整備)同四年(一九三〇)一月第四次改修(大ホールの椅子冷暖房工事)同五年(一九三〇)消防設備設置、同五年(一九三〇)下水道改造などの工事を

いすゞに至る。